

ABIC 国際社会貢献センター

Information Letter

No. 76 2026年7月

第77回理事会、第78回理事会および第26回通常総会、第79回理事会を開催

新会長に岡藤正広 日本貿易会会長（伊藤忠商事会長CEO）が就任	2
岡藤正広 会長就任あいさつ	2
常務理事・事務局長交代あいさつ	2
2025年度事業報告	3
2026年度事業計画	5
2025年度決算および2026年度予算	5
役員等	6

政府機関関係

ジェトロ「輸出プロモーター事業」専門家として日本産食品の海外輸出を支援 — 社会人人生の集大成として —	7
---	---

外国企業支援

広島県、山口県の銘醸・名所ツアーに帯同	8
---------------------	---

自治体・中小企業支援

日本伝統のしめ縄を欧州高級インテリア市場へ	9
-----------------------	---

ABIC事務局組織	10
新規入会のお知らせ	11
会員の種類	11
正会員／賛助会員一覧、活動会員数	11
賛助会員入会のお願い	12

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)
Action for a Better International Community

www.abic.or.jp

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞が関コモンゲート西館20階
Tel : 03-6268-8604 Fax : 03-6268-8652
e-mail : mail@abic.or.jp

(関西デスク) 〒541-0053 大阪市中央区本町4-4-24
住友生命本町第2ビル9階
Tel : 06-6226-7955
e-mail : kansai-desk@abic.or.jp

第77回理事会、第78回理事会および第26回通常総会、第79回理事会を開催 新会長に岡藤正広 日本貿易会会長（伊藤忠商事会長CEO）が就任

3月18日（水）に第77回理事会が開催され、2026年度事業計画および活動予算、正会員の入会について審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。

5月29日（金）に第78回理事会が開催され、2025年度事業報告および収支決算、任期満了に伴う役員の選任、正会員の入会、名誉会長の推薦について審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。また、副会長の委嘱、参与の委嘱、正会員の退会について報告が行われました。続いて第26回通常総会が開催され、第78回理事会における議決事項および報告事項について報告が行われました。

安永竜夫前会長（三井物産株式会社 代表取締役会長）は名誉会長および個人正会員として引き続きABICの活動をご支援いただくことになりました。また、副会長には新たに堀健一 一般社団法人日本貿易会副会長（三井物産株式会社 代表取締役社長）にご就任いただくことになりました。

6月1日（月）に第79回理事会が書面開催され、岡藤正広 一般社団法人日本貿易会会長（伊藤忠商事株式会社 代表取締役 会長CEO）が新会長に選任されました。また、徳田憲 一般社団法人日本貿易会常務理事が理事長に再任され、福田茂則 一般社団法人日本貿易会常務理事付が新常務理事に選任されました。



岡藤正広 会長就任あいさつ

安永前会長よりたすきを受け取り、日本貿易会の会長に就するとともに、ABICの会長に就任いたしました岡藤です。ABICはビジネスや教育の分野においてさまざまな社会貢献に寄与していますが、その活動を支えているのは2,700人を超える活動会員の皆さまの熱い志です。ABICはお一人お一人が培われてきた経験、知見、人脈の宝庫であり、皆さまはまさしく人財でいらっしゃいます。社会のお役に立ちたいという皆さまの思いこそが、NPO法人としてのABICの原動力になっています。

今後、ABICの活動をより充実させ、さらに存在感を発揮できるよう尽力してまいりますので、引き続き、会員の皆さまのご支援・ご協力を賜りたく、何とぞよろしくお願いいたします。



岩田淳 前常務理事・事務局長退任あいさつ

ABICの活動会員はじめ関係者の皆さま、退任のごあいさつ、の前に、記憶に残るエピソードを一つ。2023年6月に着任し、まだまだ右も左も分かっていない頃、老舗食品メーカーからリスクマネジメント人材の求人があり、経験豊富な商社OBの活動会員を紹介したことがありました。ただ先方から提示された報酬は「いくら何でもそれでは」というもので、会員の方もさすがに当惑されていました。ですが、その会員は「サラリーマン生活の締めくくりとして、微力ながらぜひお引き受けし、御社の成長に寄与したい」とおっしゃったのです。本当に感動しました。在任の3年間、こうしたエピソードに事欠かず、皆さまの「志」に背中を押され、担当区間を走り切ることができました。心から感謝し、ABICのさらなる発展を願って、後任の福田さんにたすきをつなぎます。ありがとうございました！



福田茂則 常務理事・事務局長就任あいさつ

この度、前任の岩田さんからバトンを受け取りました、福田と申します。

1990年に住友銀行に入行し、2007年から新技術評価と投資を行うベンチャー企業に2年ほど勤め、2008年に双日に入社しました。

双日では、リーマンショック直後でもあり、新技術の発掘と投資を細々とやりつつ、主に銀行時代の経験を活かして国内外のさまざまな事業の立て直しに従事しました。その前の銀行時代の後半とベンチャー時代には、中央官庁グループ長／大学・公共法人部長などの肩書で、主にパブリックセクターにおけるビジネス推進に長く従事しました。現在のABIC事業でお世話になっている先にも、お名前をよく存じ上げている先もあります。

とはいえ、予断を挟むことなく少しでも早くABICに馴染み、活動会員の諸先輩方と一緒にABICを盛り立てていきたいと思っております。ご指導・ご鞭撻のほど、何とぞよろしくお願いいたします。



2025年度事業報告

活動分野	主要事業	主な活動状況	活動実績 (延べ人数)
政府機関関係	ODA関連の人材紹介・推薦、政府機関諸事業（中小企業支援等）の受託および人材紹介・推薦、各種セミナー等への講師派遣、等	2025年度の活動実績は515人となり、前年度に比べ359人の増加となった。主な活動は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> 経済産業省：「中小企業等アウトリーチ事業」受託企業の安全保障貿易管理アドバイザーとしてABIC会員1人が活動を継続した。また、カンボジア政府関係者向け「カンボジア投資促進に係る課題解決機能強化支援研修コース」受託法人の監修・ファシリテーターとしてABIC会員1人が採用され活動した。 内閣府：「遺棄化学兵器処理事業」受託企業のエンジニアとしてABIC会員1人が活動を継続した。 日本貿易振興機構：2025年度も業務委託契約を締結し、「新輸出大国コンソーシアム パートナーによるハンズオン支援業務」、「輸出プロモーター業務（農林水産・食品分野）」の専門家として各々7人、4人のABIC会員が継続／新規採用され活動した。 中小企業基盤整備機構：令和7年度国際化支援に係る中小企業アドバイザーとしてABIC会員20人が継続／新規採用され活動した。また、ABICとの連携・協力に関する協定（2025年3月締結）に基づき、令和7年度海外マッチング支援に係る中小企業アドバイザーとしてABIC会員9人が採用され、大阪・関西万博に合わせ大阪・京都で開催された海外CEO商談会にて関西在住の会員4人が計6回活動した。 	515
NGO/NPO等 非政府機関関係	NGO/NPO、国際機関など非政府機関への人材紹介・推薦、等	2025年度の活動実績は9人となり、前年度に比べ横ばいとなった。主な活動は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> 国際環境NGOのプロジェクトマネジメント人材としてABIC会員1人が活動を継続した。また、新規に経理事務人材としてABIC会員1人が採用され活動した。 災害支援NGOのシステム改修・開発プロジェクトマネジメント人材としてABIC会員1人が6月まで活動を継続した。 NPO法人の事務局長としてABIC会員1人が活動を継続した。 	9
地方自治体・中小企業支援	地方自治体・関係機関の企業誘致・産品輸出促進・中小企業支援等への人材紹介・推薦、中小企業への直接人材紹介・推薦、各種セミナー等への講師派遣、等	2025年度の活動実績は365人となり、前年度に比べ21人の減少となった。主な活動は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> 全国各地の地方自治体（北海道むかわ町、気仙沼市、福島県、品川区、長野県、大阪府、大阪市、和歌山県、高知県大川村、宮崎県など）および産業振興機関（福島県貿易促進協議会、いばらき中小企業グローバル推進機構、埼玉県産業振興公社、あいち産業振興機構、滋賀県産業支援プラザ、東大阪市産業創造勤労者支援機構、えひめ産業振興財団、高知県Uターンサポートセンター、高知県産業振興センターなど）にて、多数のABIC会員が地場中小企業の販路開拓、輸出・海外進出などを支援した。 日本商工会議所の委員会、東京商工会議所の新規役交流会にてABIC紹介の機会を得るなど、日商・東商との連携がさらに進展した。 	365
外国企業の対日ビジネス支援、研修	外国企業の日本進出・販路開拓支援、外国企業・政府機関への人材紹介・推薦、日本企業の海外赴任者研修等への講師派遣、等	2025年度の活動実績は115人となり、前年度に比べ48人の増加となった。主な活動は以下の通り。 【外国企業支援】 <ul style="list-style-type: none"> ドイツ系コンサルタント会社のMarketing Advisor、州政府在日共同代表、在日大使館のAutomotive Key Account Manager、海外システム会社日本法人の人事アドバイザーとして各々1人のABIC会員が活動を継続した。 FOODEX JAPAN 2026に出展したデンマーク、イタリア、マレーシア、韓国、メキシコ、郡山市企業（計17社）の通訳としてABIC会員16人が活動した。 2025国際ロボット展、第10回ロボデックスなどロボット展示会に出展した高密度触覚センサー開発・製造会社の通訳としてABIC会員延べ12人が活動した。 日欧産業協力センターの支援によりTech Osaka Summitに出展した欧州スタートアップ企業（計5社）の通訳としてABIC会員2人が活動した。 【研修】 <ul style="list-style-type: none"> 日本企業8社から計26件の海外赴任前研修（15カ国・地域）、スキル研修（英文契約書理解）への講師派遣依頼があり、ABIC会員延べ26人が活動した。 	115
教 育	大学・社会人講座	2025年度の活動実績は206人となり、前年度に比べ14人の減少となった。主な活動は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> 26大学・大学院（81講座、1,050コマ）、5社会人講座（6講座、63コマ）にて延べ206人のABIC会員が講師として活動した。 ABIC会員向け「大学講師勉強会」を継続開催した。 	206
	小中高校国際理解教育	2025年度の活動実績は596人となり、前年度に比べ130人の増加となった。主な活動は以下の通り。 【日本語学習支援】 <ul style="list-style-type: none"> 東京都多摩市、新宿区の小中学校に通う外国にルーツを持つ児童生徒への日本語学習支援を継続した。また、東京都教育支援機構との多文化共生スクールサポートセンター事業に関する実施協定書に基づき、都立高校・特別支援学校に通う外国にルーツを持つ生徒への日本語学習や保護者面談・学校説明会通訳、日本人も含めた生徒への試験前補習などの支援を継続した。 宮城県気仙沼市との包括協定に基づく業務委託契約を更新し、市が運営する外国人技能実習生向け日本語教室の講師としてABIC会員4人が活動を継続した。 グローバル人材活躍支援事業会社の在パキスタン大学生向けオンライン日本語トレーニングプログラムの講師としてABIC会員3人が11月まで活動を継続した。 【国際理解／キャリア教育】 <ul style="list-style-type: none"> 和歌山県教育委員会との連携を継続し、小中高校・義務教育学校12校の国際理解／キャリア教育、校長研修会の講師としてABIC会員延べ10人が活動した。 大妻中野中学校・高等学校との連携を継続し、「ABICグローバル・キャリア・セミナー」の講師としてABICの女性会員3人が活動した。 関西学院大学との共催により「高校生国際交流の集い」を継続開催した。 	596

活動分野	主要事業	主な活動状況	活動実績 (延べ人数)
在日留学生支援・交流	在日留学生・家族への日本語・日本文化学習支援、育児相談通訳支援、バザーへの物品提供協力、等	2025年度の活動実績は572人となり、前年度に比べ18人の減少となった。主な活動は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> 日本学生支援機構が運営する外国人留学生・家族の居住施設（東京国際交流館、兵庫国際交流会館）にて日本語広場、日本文化教室への講師派遣、育児相談・新生児訪問検診への通訳派遣、春・秋のバザーへの物品提供、国際交流フェスティバルでの日本文化体験教室開催への協力を継続した。 ABIC会員向け「日本語教師養成講座」（6ヵ月120時間コース）を継続し、計12人が修了した。開講以来の修了者は累計300人となった。 	572
その他	国際イベント等への協力	2025年度の活動実績は43人となり、前年度に比べ41人の増加となった。主な活動は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> 東京2025世界陸上競技選手権大会、MOWA (MUSEUM OF WORLD ATHLETICS) のボランティアとしてABIC会員延べ43人が活動した。 	43
	一般人材紹介、その他	2025年度の活動実績は143人となり、前年度に比べ23人の増加となった。主な活動は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ABICの人材紹介により雇用（常勤、非常勤）されたABIC会員7人が就業を継続した。 三井物産との在日ブラジル人支援プロジェクトに関する業務委託契約を更新し、同社OBのABIC会員5人が専任スタッフとして活動を継続した。在日ブラジル人子弟・奨学金供与、NPO助成に加え、新たに在日ブラジル人大学生奨学金プログラムが加わった。 	143
合 計			2,564

会員状況 (2026年3月末)	法人正会員	19社・1団体（2社増） 新規入会：CBC株式会社、東京貿易ホールディングス株式会社
	個人正会員	11人（1人減） 新規入会：宮本史昭氏、退会：宮原賢次氏、市村泰男氏
	法人賛助会員	2社・1団体（1社減） 退会：有限会社イーコマース研究所
	個人賛助会員	159人（20人減） 新規入会：5人、退会：25人
	活動会員	2,728人（296人減） 新規入会：113人、退会：409人
体制	事務局	3人体制を維持（事務局長1人、正職員1人、契約職員1人）
	コーディネーター	1人減少し21人体制（東京オフィス16人、関西デスク5人）。交代：東京オフィス4人（4、5、6月）、関西デスク1人（7月）、退任：1人（11月）。
基盤強化	定款の一部変更	<ul style="list-style-type: none"> 「事務局の組織及び運営」に関する規程の新設・改廃について、理事長にて事務局の運営に関するものか否か、重要事項に該当するものか否かを判断の上、重要事項のみ理事会の議決を経ることとし、重要事項以外は、機動的な新設・改廃を可能なものとするため、理事長決裁にて取り進めることとした（2025年5月30日に開催した第75回理事会・第25回通常総会にて議決）。
	諸規程の整備	<ul style="list-style-type: none"> 「就業規則」の一部改定（条項の制定、統合、改定） <ol style="list-style-type: none"> 「職場におけるハラスメントの禁止」条項制定 「勤務時間、休憩時間および勤務場所」条項改定（勤務場所に関する条項を追加） 「勤務間インターバル」条項制定 「給与等」条項改定（職員が同意した場合の振込による支払に関する条項を追加） 「育児休業」条項と「介護休業」条項の統合 「懲戒」条項改定（種類および程度に関する条項を追加） その他、軽微な文言修正 関連諸規程の制定、改定 <ol style="list-style-type: none"> 「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」制定 「在宅勤務に関する細則」および「在宅勤務許可申請書」制定 「育児・介護休業等規程」制定（「育児休業規程」と「介護休業規程」の統合、「子の看護休暇」条項における子の対象範囲の改定および取得事由の追加、「育児・介護のための所定外労働の制限」条項における子の対象範囲の改定） 「職員給与規程」改定（「欠勤・休暇中の給与」条項における自己都合欠勤の場合の取り扱いの追加） 「退職手当規程」改定（「算定方法」条項の実情を踏まえた改訂、「休職期間の取扱」条項の追加、「特別加算」条項における該当事項の追加、「控除」条項の削除、「改定」条項の削除）
	ICTシステムの更新	<ul style="list-style-type: none"> Windows10のサポート終了に伴い、既存全端末をWindows11にアップグレードした。同時にノートPCを追加購入して端末共有を取り止め、一人一台体制に移行した。また、在宅勤務時の接続方式もVPNに切り替えセキュリティを強化した。
広報活動	会報『ABIC Information Letter』発行	<ul style="list-style-type: none"> 活動会員やコーディネーターによる寄稿（活動レポート）、事務局だよりなどを掲載し、会員・関係先向けに発行。（4月、7月、12月）
	『日本貿易会月報』寄稿	<ul style="list-style-type: none"> 日本貿易会の機関誌『日本貿易会月報』の「ABIC PLAZA」のコーナーに活動会員やコーディネーターによる寄稿（活動レポート）を掲載。（毎月、年6回）
	ウェブサイト運営	<ul style="list-style-type: none"> 活動概要を年次更新。（9月）
	広告	<ul style="list-style-type: none"> 国際貿易投資研究所『世界経済評論』にて日本貿易会との共同純広告「経験、知見、人的ネットワークを生かした社会貢献活動」を掲載。（毎月、年6回）

2026年度事業計画

活動分野		活動目標 (延べ人数)	事業計画（全分野共通）
政府機関関係		600	<ul style="list-style-type: none"> ABIC会員を紹介・推薦し、活動を継続している相手先（政府関係機関、NGO／NPO、地方自治体・関係機関、学校・教育機関、企業・団体など）との関係維持・強化により活動人数の維持・拡大を図る。 コーディネーター全体会議（東阪合同）を開催し、事業計画の中間レビューを行う（PDCAを回す）。 採算意識の一層の醸成を図る（適格インボイス制度導入に伴う受託費引き上げ、人材紹介・推薦手数料改定の浸透、会員向け講座・勉強会等の採算確保、など）。 活動分野を同じくするABIC会員（外国人小中高校生向け日本語学習支援等の支援員、外国人留学生向け日本語広場・日本文化教室の講師、大学・社会人講座の講師、ジェトロや中小機構の中小企業支援専門家など）間のコミュニケーション（情報共有・意見交換）を促進し、相互の気づきや一体感の醸成を図り、質の向上につなげる。 ABIC会員と一層の顔の見える関係を構築する（新規入会会員や初めて活動する会員との面談、活動継続中の会員とのメール交信や面談による近況把握、会員への会報寄稿依頼、会員向け講座・勉強会・懇親会の開催、など）。
NGO／NPO等非政府機関関係		10	
地方自治体・中小企業支援		400	
外国企業の対日ビジネス支援、研修		130	
教 育	大学・社会人講座	260	
	小中高校国際理解教育	630	
在日留学生支援・交流		580	
そ の 他	国際イベント等への協力	10	
	一般人材紹介、その他	150	
合 計		2,770	

2025年度決算および2026年度予算

(単位：千円)

科 目	2025年度決算額	2026年度予算額
I 経 常 収 益		
(1) 受 取 会 費	5,720	5,820
法 人 会 費	(4,790)	(4,930)
個 人 会 費	(930)	(890)
(2) 受 取 寄 付 金	0	0
(3) 事 業 収 益	114,600	115,870
日 本 貿 易 会	(46,090)	(45,870)
そ の 他	(68,510)	(70,000)
(4) 雑 収 益	97	202
経 常 収 益 計	120,418	121,892
II 経 常 費 用		
(1) 事 業 費	71,782	72,556
(2) 管 理 費	49,315	51,032
経 常 費 用 計	121,097	123,588
当 期 経 常 増 減 額	-679	-1,696
経 常 外 収 益 計	0	0
経 常 外 費 用 計	0	0
当 期 正 味 財 産 増 減 額	-679	-1,696
前 期 繰 越 正 味 財 産 額	48,364	47,685
次 期 繰 越 正 味 財 産 額	47,685	45,989

政府機関関係

ジェトロ「輸出プロモーター事業」専門家として 日本産食品の海外輸出を支援 — 社会人人生の集大成として —

せきはら しばびこ
関原 滋彦 (元 住友商事)

和食は2013年にユネスコの無形文化遺産に登録され、2年後の2015年のミラノ万博を契機にその食文化も含めて世界的なブームを巻き起こした。日本政府はこの潮流をわが国の農林水産・食品事業のさらなる発展につなげるため、国を挙げて日本産農林水産物・食品の海外向け輸出ビジネスの促進を支援することとし、さまざまな支援事業を展開している。その一つが農林水産省がジェトロに委嘱している「輸出プロモーター事業」である。私は2016年度から同事業（当時の名称は輸出有望案件発掘支援事業）の専門家として、ジェトロの審査を経て採択された日本の農林水産・食品製造業者（特に中小企業）の輸出ビジネスを支援し、現在に至っている。これまでの10年間に担当した支援企業は延べ60社以上に上る。

私は大学卒業後総合商社に入社し、フィリピン、ベルギー、英国の3カ国での海外勤務も含めて約30年間勤めた。2005年に早期退職し、1年間カフェスクールと東京・神田のベルギー料理の名店で調理も含めた勉強をさせていただいたうえで2007年に北海道札幌市で居酒屋を開業したが、相棒の妻が病に倒れ2年足らずで撤退、その後2009年に北海道の食品メーカーに再就職（勤務地は東京）し、そこで特命担当として同社が製造している加工食品の輸出ビジネスの立ち上げ業務に携わることとなった。商社時代、農林水産・食品ビジネスはどちらかといえば輸入畑の仕事が多い中、私は輸出畑だったこともありこの特命に約6年間、意欲的に取り組むことができた。この仕事を通じてジェトロが実施していた「輸出有望案件発掘支援事業」を知り、応募した。無事採択いただき、経験豊富な専門家の支援の

下、香港、台湾、シンガポール向けなどの輸出ビジネスの立ち上げに一定の実績をあげ道筋をつけることができた。

日本は少子高齢化を背景に人口減少が進み、日本の農林水産・食品事業者、特に中小事業者は将来の事業継続を見据え海外市場に打って出るところが多くあるが、言葉、貿易実務、海外ビジネス経験、人材など多くの課題を抱えている現実にあって、「輸出プロモーター事業」の支援が非常に有用であることはいままでのない。支援内容は、輸出戦略・施策の立案と構築、海外バイヤーとの商談支援、国内外の展示会や商談会への同行支援、海外取引全般に関するさまざまな課題に対する適切な助言と指導などのいわゆる伴走型支援である。これら業務に関わる専門家の知見活用や出張旅費等も含めた一切の費用は国の補助金で賄われ、被支援企業の負担は発生しない。

私は、商社時代に積み上げた輸出取引全般に関わる知見、飲食店での料理人目線は食品メーカーの商品を海外バイヤーに提案するうえでストーリー性と使い方（メニュー）の提案に極めて有用であり、食品メーカー時代にゼロから輸出事業を立ち上げた「現場感に基づく経験」等々も生かして、輸出に挑戦する多くの企業のお役に立ちたいと思うようになり、ABICの案内を受けて2016年度の専門家公募に応募し採択いただいた次第である。以来10年にわたり、私の社会人としての職歴と経験は全て現在の「輸出プロモーター事業専門家」としての仕事に活かされており、「無駄なことは何一つない」、まさに「社会人人生の集大成」と自負して仕事に取り組んでいる。



ジェトロが運営する海外食品展示会で担当企業の商談を支援する筆者（左端）



支援企業の担当者に同行しマイアミの飲食店オーナーシェフとの商談支援を行う筆者（左端）

外国企業支援

広島県、山口県の銘醸・名所ツアーに帯同

ふじい あきひこ
藤井 昭彦 (元丸紅)

2025年11月中旬に、ロイタ株式会社主催の標記ツアーに英語通訳兼案内役として帯同した。

ABICとの関わり

数年前に会社の同期と会食した際に、当時ABICのコーディネーターをされていた元直属の上司にも参加いただき、ABICの活動について説明を受け興味を持った。2024年2月にABICの会員となり、いろいろな活動機会の案内を受けていたが、そのなかで本ツアーは私が保有している唎酒師（日本酒サービス研究会資格）、SAKE DIPLOMAおよびSAKE DIPLOMA INTERNATIONAL（いずれも日本ソムリエ協会資格）ならびに山口県出身であることが生かせると考え応募した。

本ツアーの趣旨および参加者

本ツアーの趣旨は、日本酒の酒造りの伝統を学ぶことをキーコンセプトに日本各地にある伝統文化、自然、ホスピタリティ、食文化などを体験すること。参加者は主催者1人、ツアー参加のため来日したシンガポール人、カナダ人の総勢10人だった（筆者除く）。

ツアー準備

8月中旬に私用で実家に帰省する機会があったので、改めて錦帯橋、秋吉台秋芳洞などの観光パンフレット（英文）を読み直した。また、主催者に秋芳洞での過ごし方や駐車場の場所などを事前およびツアー中に提案した。

山口ツアー 11月14日(金)～15日(土)

◇1日目（14日）

広島を出発し、錦帯橋、瀬祭を訪問した。錦帯橋では、美しい五つのアーチを持つ木造橋であり、かつ「木組みの技法」、すなわち釘をほとんど使っていない橋であることなどを説明しつつ散策した。ツアー参加者には、遠景の山頂にある岩国城、錦川を泳ぐ魚の群れや釣り人などにも興味を持っていただけた。

瀬祭では、同社スタッフ2-3人に設備、製造工程、研究室、



瀬祭の見学でスタッフの説明を通訳する
(瀬祭のベストを着たスタッフの右隣が筆者)

検査室などをご案内いただき、私が説明内容を都度英語で解説した。検査結果の資料までも写真撮影させていただいて驚いた。残念ながら日本酒販売棟の広さの関係もあり人数的に試飲は難しかったので、各自気に入ったお酒を購入して出発することとなった。

次いで、萩焼の世界では有名な大和保男氏の「保男窯」に向かい、車中で簡単に萩焼の説明を行った。同窯の店舗部分をスタッフの説明を受けつつ視察し、各自気に入った萩焼を購入した。宿泊先の「松田屋ホテル」への移動中の車中では、明治維新の頃、同ホテルで坂本竜馬や高杉晋作などの志士が集まって会合したということの説明するとともに、ホテル近くの酒販店を紹介した。

◇2日目（15日）

秋吉台では、カルスト台地を展望台から眺め、そのあとしばらくおのおの台地を散策して過ごした。秋芳洞では、美しく神秘的な鍾乳洞内をじっくり時間をかけて散策した。皆さんは、「百枚皿、千畳敷、傘づくし、大黒柱、黄金柱」などさまざまな形の鍾乳石に興味深そうに鑑賞しておられた。

大嶺酒造では、蔵見学はできなかったが、併設のカフェで日本酒「飲み比べ3種セット」を注文し、私よりそれぞれのお酒のテイastingコメントをお伝えしつつ利き酒を楽しんでいただき、皆さんそれぞれお気に入りのお酒を購入した。

◇後日談

ツアー参加者のうち2人が私の現在の勤務先である名古屋の純米酒バーに来店された。こちらでも私の説明を聞きながら日本酒を楽しんでいただいた。

今回、本ツアーに帯同させていただいたことで、「日本の伝統的酒造り」ならびに山口県の名所、文化、歴史をご案内することができ、とても有意義であった。

(主催者からのメッセージ)

このツアーは、10月から4月くらいまでの酒造の時期に実施しており、特に春の桜と秋の紅葉の時期は人気があります。温泉旅館に泊まることも一つの目玉です。今後も、ABIC活動会員の方々に英語通訳兼案内役としてご支援いただきたく、よろしくお願いいたします。



大嶺酒造のカフェでの利き酒（左から2人目が筆者）

日本伝統のしめ縄を欧州高級インテリア市場へ

ファビュコム合同会社 くさま 草間 ゆき 由紀

ジェトロ「新輸出大国コンソーシアム」の専門家としての仕事を遂行するにあたり、ジェトロの業務委託先法人であるABICに2025年3月に会員登録した。同年10月に会員へのメールで「宮崎県ものづくり企業海外ビジネスサポート事業コーディネーター」の募集を知り応募したところ採用いただき、しめ縄製作を営む株式会社たくぼの欧州進出を支援することになった。

この支援のゴールは、2026年2月にドイツで開催される世界最大級のインテリア・デザインの展示会「Ambiente / アンビエンテ」のジャパンプースにおいて、同社代表取締役の甲斐氏が披露する、しめ縄製作の実演を成功に導くことであった。11月の支援開始後すぐに宮崎県高千穂郷にある同社を訪問。しめ縄の素材となる高品質のわらを調達するために、田植えから手がけて100%ハンドクラフトの製品づくりをしているという言葉の通り、オフィスとアトリエは棚田が広がる山間地区にある。米の収穫前に採取する香りが高く繊細な青わらと、米の収穫後に採取する丈夫な黄わら。それぞれのわらの特徴を活かした製品に囲まれたオフィスで、甲斐氏のものづくりの考え方、しめ縄の地理的・歴史的・宗教的背景、海外進出の展望などをヒアリング。これをもとに、欧州のインテリア市場向けのブランディング戦略の基礎を短期間でできる限り構築し、実演時に欧州のバイヤーに伝えていくことが私の仕事となる。

展示会までの実質2ヵ月を有効に使うため、展示会で配布するリーフレットのコンテンツから着手。欧州では認知がない「しめ縄」を、高級インテリア製品としてどのように現地のバイヤーに伝えていけばよいかをブランディングをもとに考察し、日本語でまとめる。これを甲斐氏と協議し、英語版の文章をライティングしていく。サステナブル



株式会社たくぼ代表取締役甲斐陽一郎氏としめ縄作品（右が筆者）

な観点からも、欧州の展示会では紙のリーフレットを持ち帰るバイヤーは少ない。リーフレットのデータをQRコードから読み取れるように、ショップカードにQRコードを入れ込むことをアドバイスした。次に、1時間にわたるしめ縄製作実演の構成を考えなければならない。実演過程の要所所で甲斐氏が行う説明の他に、甲斐氏の紹介としめ縄の歴史について説明する導入部分を加えた台本を作成。こちらも日本語版で甲斐氏と協議をしてから英語にしている。リーフレットのコンテンツも実演の台本も、「日本人と欧州人との常識と知見のギャップを埋めていくこと」に注力した。これは、欧州企業の日本進出時のブランディングと広報の責任者を担っていた際に、徹底していた事柄である。

実演時の私の役割は、実演開始前の場の雰囲気づくり、実演の説明、実演後のバイヤーとの懇談を英語と日本語でスムーズに進めていくことである。展示会ブース内での実演は、オーディエンスが少人数で至近距離にいるため、プレゼンテーションスタイルではなく対話スタイルを採用。全員に順番にアイコンタクトをしながら説明を行った。甲斐氏はシンプルなしめ縄と、しめ縄の技術を応用した祝酉いわいどりを製作。あぐら座で手と脚を使って縄をなつて巧みに成形していく様に、オーディエンスから感嘆の声が上がることもしばしば。しめ縄の歴史的背景などについても理解を得られた。実演終了後には、抹茶などを扱うオンラインショップオーナー、インテリアショップオーナー、飲食店のインテリアデザイナーなどと深い話が弾んだ。欧州では懇談を介した人間関係構築がビジネスの基本であるため、同社の今後の発展に期待が持てる。



しめ縄製作の実演

ABIC事務局組織 (2026年6月1日より) <氏名五十音順>

理事長	とくだ さとし 徳田 憲
常務理事・事務局長	ふくだ しげのり 福田 茂則
参与・事務局長補佐	いわた じゅん 岩田 淳
事務局員	あおやぎ ゆき、いとう なおき 青柳 友紀、伊藤 直樹 mail@abic.or.jp

コーディネーター (22名)

- 総務・経理 めいきょう けいじ
名鏡 敬治
mail@abic.or.jp
- 自治体・中小企業支援グループ すぎやま なおや たかた なるひと とりやま しげとお なかはし かずひさ まつもと たかし
杉山 直也、高田 成人、鳥山 重遠、中橋 和久、松本 匡
smesupp@abic.or.jp
- 外国企業支援グループ かぬみさき むつや
亀岬 睦也
support@abic.or.jp
- 大学等講座グループ たきもと ただし つるみ くにお ますい てつじ
瀧本 忠、鶴見 邦夫、増井 哲治
univ@abic.or.jp
- 小中高校国際理解教育グループ さかもと ひでき すがのう みやうち ゆうじ
坂本 英樹、菅納 ひろむ、宮内 雄史
krikai@abic.or.jp
- 留学生支援グループ たけはら まさかず でぐち まさなお みやこ かずこ
竹原 正和、出口 正高、宮子 和子
abicodaiba@abic.or.jp
- 新規案件・特命担当 せき いちろう
関 伊知郎
mail@abic.or.jp
- 関西デスク いかわ てつひろ いたくら なおと きかい ひろし よしとみ しげたか わまた しんいちろう
井川 哲宏、板倉 直人、酒井 宏、吉富 茂隆、和又 真一郎
kansai-desk@abic.or.jp

メールアドレス変更の際はご一報ください

メールアドレスを変更された際は、事務局までご連絡ください。

最近、メールが届かないケースが増えています。

確実にご案内をお届けするため、ご協力をお願いいたします。

e-mail : mail@abic.or.jp FAX : 03-6268-8652

新規入会のお知らせ

正会員(法人) 2026年3月入会 CBC株式会社

2026年3月入会 東京貿易ホールディングス株式会社

正会員(個人) 2026年6月入会 安永竜夫氏 三井物産株式会社 代表取締役会長

会員の種類

種類	内容	年会費
正会員	センターの目的に賛同し、活動を推進し、会費を納める個人、法人および団体。(理事会の承認を得て入会)	法人および団体 1口 50,000円
		個人 1口 10,000円
賛助会員	センターの目的に賛同し、会費を納める個人、法人および団体。	法人および団体 1口 10,000円
		個人 1口 5,000円
活動会員	センターの目的に賛同し、活動に参加しようとする個人。	なし

(2026年6月1日現在)

正会員

法人・団体 (19社、1団体) (社名・団体名五十音順)

〈10口〉 伊藤忠商事(株) 住友商事(株) 双日(株) 豊田通商(株) (一社)日本貿易会 丸紅(株) 三井物産(株) 三菱商事(株)

〈2口〉 稲畑産業(株) 岩谷産業(株) CBC(株) 長瀬産業(株) 日鉄物産(株) 阪和興業(株)

〈1口〉 兼松(株) 興和(株) 三洋貿易(株) JFE商事(株) 蝶理(株) 東京貿易ホールディングス(株)

個人 (12名) (敬称略、氏名五十音順)

〈3口〉 中村 邦晴

〈1口〉 池上 久雄 岩城 宏斗司 岡 素之 國分 文也 小林 栄三 小林 健 佐々木 幹夫
寺島 実郎 宮本 史昭 安永 竜夫 吉田 靖男

賛助会員

法人・団体 (2社、1団体) (社名・団体名五十音順)

〈2口〉 (公社) 東京のあすを創る協会

〈1口〉 (株)エックス・エヌ JAPAN WAY(株)

個人 (159名) (敬称略、氏名五十音順)

〈2口〉 安藤 元厚 井川 哲宏 遠藤 寿一 奥谷 直也 川島 一郎 倉光 恭三 笹倉 優
三幣 利夫 新藤 哲雄 関 伊知郎 野津 浩 坂東 寛隆 福田 定直 藤井 眞
前田 耿史 松尾 謙二 宮内 雄史 名鏡 敬治 山田 芳正 山本 一良

(賛助会員続き)

〈1口〉	朝倉 一美	安達 公一	荒木 康文	安齋 正行	猪狩 真弓	石橋 満	板倉 直人
	伊東 良平	稲田 寛	今井 明良	植木 正憲	江川 典一	榎本 啓一郎	遠藤 研二
	遠藤 真喜子	大久保 浩司	大浩 義之	太田 光雄	岡本 徹	小畑 克之	角井 信行
	鹿志村 馨	片桐 二郎	片山 仁	葛城 慎輔	紙屋 司	河崎 隆夫	閑林 亨平
	久木田 修司	櫛田 光彦	葛目 薫	久保山 毅	九門 みさき	九門 康之	倉地 弘之
	黒岡 誠一	鋤形 勲	坂上 恵一	坂本 英樹	澤村 康史	城田 比佐子	菅納 ひろむ
	菅原 信夫	杉浦 康之	杉山 直也	鈴木 紀子	鈴木 紘司	鈴木 昌宏	煤田 徳東
	関口 幸男	関原 滋彦	高嶋 宏臣	高田 成人	鷹津 俊一	高塚 謙次	高柳 昌之
	瀧本 忠	竹下 浩	武田 勝年	竹田 真奈美	竹原 正和	田島 基二	田島 敏雅
	橘 弘志	田中 剛	玉木 興梟	辻 萬亀雄	土屋 英五	津守 克平	鶴見 邦夫
	出口 正尚	寺澤 眞治	都丸 啓吉	冨永 宏志	友永 隆浩	鳥山 重遠	中川 昌昭
	永島 謙介	中園 智子	仲田 慎太郎	永田 明司	中高 英明	中野 教子	中橋 和久
	永峰 千年	鍋島 英幸	西 以久夫	西川 裕治	西澤 俊一	西村 信泰	西山 勝昭
	橋本 政彦	橋本 勝	長谷川 大幾	羽生 憲夫	早川 俊一郎	葉利 博	坂野 正典
	菱川 治	日野 武彦	廣瀬 一郎	傅 文彬	福田 毅	福永 信一	藤井 重隆
	藤巻 宏敏	藤村 登	布施 克彦	舟橋 金之介	船見 義克	堀江 博	増井 哲治
	松田 元博	松本 匡	松山 久	丸山 忠男	三浦 純一	三神 博美	味田村 正行
	三栗 敏	宮子 和子	宮本 正明	村田 耕次	村田 三七男	森 岳三	森松 直毅
	矢尾板 健二	山岸 正雄	山口 信行	山崎 義則	山田 隆	山中 健司	山根 昭郎
	山脇 隆司	横山 泰雄	吉田 房子	吉富 茂隆	李 明浩	和又 真一郎	

活動会員 2,746名

賛助会員入会のお願い

ABICの目的にご賛同いただき、資金的な援助をしていただける活動会員およびその他の個人の方、
ならびに法人および団体の皆さまのご入会をお願い申し上げます。

会員入会のお問い合わせ・連絡先

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館20階

TEL : 03-6268-8604 FAX : 03-6268-8652 E-mail : mail@abic.or.jp